

7. 新技術研究センター

7. 1 平成 30 年度新技術研究センターの管理・活動実績

新技術研究センターは、平成 8 年に大学院ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーとして設置された後、大型プロジェクト研究拠点として、テニユア・トラック教員が、研究支援者の協力のもとに複数の領域にまたがる研究を推進する異分野融合先端研究コア(※)研究拠点となっていました。平成 26 年 3 月末ですべてのテニユア・トラック教員が部局等の専任教員となり、現在は引き続き異分野融合先端研究コアの研究教育拠点として建物の一部を使用しています。当機構は新技術研究センター全体の施設管理を行っています。

※ 異分野融合先端研究コア

岡山大学は、将来の基幹技術となりうる異分野融合新領域創出を研究の重点と位置づけ、その担い手としての若手研究者の育成を行っています。文部科学省・科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業の支援のもとで、若手研究者を中心とする研究組織「異分野融合先端研究コア」が平成 20 年度に設置され、現在下記の 4 名の教員が新技術研究センターを拠点として教育研究に従事しています。

新技術研究センターにおいて推進した研究

研究者名	研究課題
佐藤 伸 准教授	四肢再生と再生能力の進化
仁科 勇太 准教授	複雑な反応系での有機化学
兵藤 不二夫 准教授	生物の同位体が解き明かす陸上生態系の植物網の構造
守屋 央朗 准教授	生物学実験と理論の融合による細胞のロバストネスの研究